

市議会報

# 大野

No. 19

49. 11. 1  
発行 大野市議会  
TEL 6-1111  
(内線 303)  
印刷 松浦印刷所

## 9月定例市議会

## 一般会計予算総額30億を超える 一般会計補正予算 2億2,895万円を可決

### 農業構造改善事業など中心に

—11議案を可決・同意—

第148回9月定例市議会は、9月14日招集され、会期を21日までの8日間と定め、理事者から提出の議案11件を原案どおり可決・同意いたしました。また市民の皆さんから出されました請願・陳情は別掲のとおり決め、最終日には議員提案による「減税に関する意見書」「物価高騰による庶民貯金の目盛り対策に関する意見書」の2件を満場一致で可決いたしました。また市政に対する一般質問が2日間にわたり行われました。

一般質問

### 失われた地下水の権利

### 真名川本流に水を流せ!

### 政治的解決へ



水枯れが心配される真名川



## お も な 議 案

### ▼昭和49年度大野市一般会計補正予算

今回の補正額は2億2,895万円を追加し30億5,947万円といたしました。

補正の主なものは次のとおり。

〔歳出〕

福祉センター調査費30万円。米値上げに伴う借地料不足分497万円。土地購入費464万円(職業安定所敷地451㎡)。交通少年団補助25万円(有終西, 有終南下庄の各小学校の3団体)。元大野保育所跡の遊園地整備費75万円と遊具購入費70万円。母親クラブ補助53万円。老人施設地域交流事業費37万円。稲作協業集団整備事業補助506万円(睦稲作協業組合の格納庫, 上舌近代化生産組合の農業機械整備)。家畜ふん尿農地還元促進協議会補助30万円。農山漁村環境整備事業補助527万円(上舌区の資材貯蔵施設, 大西出区の集落開発センター)。市単土地改良事業費54万円。塚原かん排受託工事909万

円。県営広域農道負担金2,094万円(総事業費1億3,577万円で市負担分15%)。県営一般農道負担金227万円(事業費909万円で市負担分25%)。県営木本かん排負担金511万円(事業費3,135万円)。農業構造改善事業7,863万円(上庄機械利用組合825万円, たばこ乾燥施設1,497万円, 農業団地センター4,872万円, 新興酪農生産団地669万円)。温泉調査工事費125万円。円山公園駐車場舗装負担金200万円(総事業費600万円で市負担分3分の1)。市道補修工事100万円。道路改良工事費1,906万円。道路舗装工事費706万円。除雪費1,327万円。三番線測量委託費120万円。新庄東中線舗装工事追加分300万円(総工事1,500万円)。駅東公園整備追加分100万円(総工事900万円)。電気料値上げに伴う・小中学校の光熱水費335万円。有終西小学校放送室改造110万円。乾側小学校給水ポンプ工

事220万円。上庄中学校ポンプ修理費80万円。開成中学校盛土造成工事684万円。陽明中学校グラウンド工事47万円。開成中学校備品購入費追加分100万円。大野公民館ボイラー修理費81万円など。

〔歳入〕

市税1億1,342万円。分担金及び負担金20万円。国庫支出金306万円。県支出金9,038万円。財産収入50万円。寄付金84万円。諸収入2,054万円など。

### ▼大野市重症心身障害児(者)等福祉手当支給条例の一部を改正する条例

今回の改正は心身障害児(者)等の福祉手当支給について、その対象範囲が拡大されたもので次のとおりです。

- (1)心身障害児(者)の手当支給は、2級以上とされていたが3級以上に改正した。
- (2)肢体不自由児(者)手帳所持者2級以上の状態にあるもので、介護を要しないと認定された者も対象となる。

(3)聴覚障害児(者)(平衡機能障害及び音声、言語機能障害児(者)を含む)手帳所持者で、現障害が2級以上の状態にある者。

(4)心臓、じん臓、または呼吸器の機能障害児(者)手帳所持者で、現障害が2級以上の状態にある者。

なお手当の額は障害の種類及び程度に応じて1か月2,000円、1,300円、1,000円の3段階に分かれている。

**▼災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例**

この条例は、災害により死亡した市民の遺族に災害弔慰金の支給ならびに災害により被害を受けた世帯の世帯主に災害援護資金の貸付を行うもの。その内容は

(1)弔慰金は遺族に対して死亡者1人当たり50万円を支給する。

(2)援護資金の貸付けは住居が全壊した場合50万円、半壊の場合30万円、世帯主が療養に要する期間が1か月以上の負傷を負った場合30万円、被害金額が住居または家財の価額の3分の1以上の損害を受けた場合。償還期間は3年すえ置き10年、利率は年3%で、すえ置き期間中は無利子である。

**▼大野市道路線の認定について**

給食センター木瓜川線 212mは宅地化が進み日常生活に欠くことのできない道路として、また南六呂師高原線 410mは観光道路としてそれぞれ市道に認定するもの。

**9月定例会審議日程**

- 14日 本会議(会期の決定、議案上程、提案理由の説明)
- 15日 休 会
- 16日 休 会
- 17日 本会議(一般質問)
- 18日 本会議(一般質問、各案件委員会付託)
- 19日 委員会(建設・教育民生常任委員会)
- 20日 委員会(産業経済・総務常任委員会)
- 21日 本会議(各委員長報告、質疑、討論、採決、追加議案上程、説明、質疑、討論、採決)



九月十七、十八日の二日間にわたり、議案に対する質疑ならびに一般質問が行われ、十名の方々が理事者に質問し、その外にも多数の方々が関連質問を行いました。その主なものは、地下水の問題、繊維産業不況対策の問題、基本計画の手直しの問題、市民福祉センター建設の問題に関するものなどでした。なお、これらの答弁には市長の外関係課長がこれに当たりました。

**失われた地下水の権利**

**真名川の本流に水を流せ!**

契約にも制限条項がある

政治的解決のみ

**問** 過去の本会議において再三論議されてきた水資源の問題である。市長は「真名川ダム完成のあかつきには、調整効果分の水約2トンについては真名川に放流するという確約を得ている」と言われたが間違いないか。

**答** 確約は得ているが、極めて不確定な要素が強く、常時毎秒2トンの水が流れるわけではない。平均しての推定である。この水を市の特定な所有にしていくとなれば、多額の金を出さなければならない。そのため今後建設の過程において、調整効果分の水を市の利便になるよう県に対して強く要請していきたい。

**問** 調整効果分の水は常時流れないと言われたが、それでは従来から真名川に流れている水は何トンか伺いたい。

**答** 一体真名川の下流に何トンの水が流れているかが現在の大きな問題である。この問題は昭和32年ころ笹生川ダムができ、五条方の発電所ができた際、五条方のえんていで分水をしているのである。その際真名川の土地改良、北陸電力、下流の用水組合の三者協定で、真名川の土地改良には夏場12.5トン冬場は4.5トンの水を、また北電には16トンの水の取水権を県が与えたのである。しかし下流に

一体どれだけの水量を流すべきか数字が明記していないため、今日の地下水不足という大きな問題となってきたのである。真名川に従来どおりの水量が流れていれば、地下水不足という問題が起らなかったのである。それを建設省が、北電に取水権を与えたために、真名川に水が流れなくなったということである。

**問** 契約には市内に支障があった場合、水を制限することができるという条項が入っている。市長の熱意にかかっていると思うが……。

**答** 政治的に解決すべき極めて重大な問題であり、今後皆さんとも協力して強力に運動を展開していきたい。

**問** 調整効果分の水約2トンについて、当市はなんら負担しなくても確保できるという認識をもってしたが、一体どういふことか再度伺いたい。

**答** 大野市の権利として固定しようとするれば、金を出さなければならない。もしダムのかさあげをしないとすれば、市へ特定かんがい用水として提供するだけの余裕がない。となれば現在のダムをかさあげして心要な貯水をしていく工夫が必要であり、そのためにはある程度の金を出さなくてはならないということである。

**現在の事態に合わせて  
基本計画を手直しする  
考えはないか？  
果たして公約した事業が  
できるのか？**

**問** 昨年の石油危機に端を発した経済危機は当市にも大きな打撃を与え、税収の減、物価値上げ、大幅賃上げによる経常経費の大幅増、また国の総需要抑制等誠に厳しい状況にある。

そこで昭和60年を目途とした市の基本計画を、この際現在の事態に合うよう手直しする考えはないか。

**答** 基本構想あるいは基本計画は、当市の将来の大きな理想であり目標であるので、手直しする必要はないと考えている。しかし3年ごとの実施計画については、変化に応じて今後十分検討して手直しをしなければならない。現在市が当面している問題と将来のために布石しなければならない問題が山積しており、これらを十分実施計画の中で検討して、健全財政を維持しながら推進していく必要があると考えている。

**問** 公約している多くの事業が果たして計画通り実施できると考えているのか。また今後の財政見通しを十分考えての答弁なのか。

**答** 財政の見通しは必ずしも十分ではない。国の総需要抑制による公共事業の遅れ、また地方自治体においても物価高、インフレ化、特に人件費の高騰が市の財政を相当圧迫していくであろうと予想される。反面、税収は本年度の不況が明年度に大きく影響してくると思われ、財政の運営が非常に苦しく、建設事業に向けられる金額が非常に少なくなってくると予想している。従って事業の延伸について、実施計画の中で十分財政計画とにらみ合わせて事業の遂行を図っていききたい。

**陽明中学校完成後の内外の整備  
年次計画を立て  
明るい学園環境を**

**問** 本年6月陽明中学校の体育館も完成し、名実ともに立派な中学校となったことは誠に喜ばしいことである。しかし学びよい明るい学園環境をつくるには、ま

だまだキメ細かい施設整備が必要と思うが、市の今後の整備計画を伺いたい。

**答** 現在の教育を進めていく上において国の定める補助対象面積の中のワクだけでは満足な教育整備ができないのが現状である。従って市の一般財源の持ち出しが非常に多いところに大きな問題がある。早急に整備する必要があるが一挙にはできない。年々計画を立て充実していきたい。グラウンドについては永久的整備が必要であるため、今後十分研究していただきたいが、当面、排水と赤土の搬入によって整備をしたい。



待たれる陽明中学校のグラウンド整備

**繊維産業の不況  
市全体の商業界に波及 ……  
不況対策、市民所得の増大策！**

**問** 当市の基幹産業である繊維産業はかつてない不況にみまわれている。このことが市全体の商業界への不況につながり、また市民所得の低下にもつながる。市長は今後いかにして市民所得の増大を図っていくのか。

**答** 今後繊維産業の不況はますます深刻になってくると思われる。石油ショック以来、後進国の追いあげ等もあり、抜本的に構造改善しなければ繊維産業全体の問題として救うことができないといわれている。われわれもこれに対処するため今後織物組合等と十分相談して対策を講じていきたい。当面緊急的に融資する方向で努力していきたい。今後の繊維産業の消長を考えた場合、市だけで解決できるものではなく、国・県・市が一体となって抜本的に対策を講じていく必要がある。国・県に強く働きかけていきたい。なお、市民所得を増大するためには新しい産業を育成し、新しい企業を誘致して産業構造の革新を図っていくという私の持論に変わりはなく、全力を挙げて工場団地の土地取得に努力していきたい。

**京福線廃線に伴う  
経過措置と今後の整備計画  
貨物輸送力の確保は………  
廃線敷の道路整備計画………  
大野口駅構内の利用は………**

**問** 京福線廃線に伴う経過措置と今後の整備計画について伺いたい。①貨物輸送力の確保はどうなっているのか。②廃線敷跡地の道路整備計画はどうか。③大野口駅構内跡地をどう利用していく考えか。

**答** ①貨物問題は国鉄越前大野駅の方で24車両増設する計画になっており、早晚工事が完成する予定である。②廃線敷等の売買契約は境界の問題等でまだ締結していない。廃線敷のうち中津川から下荒井までは、国道157号線を拡幅整備し、歩道を付けていきたい。中津川から大野口に至る路線は、都市計画街路として12mで拡幅整備していく予定である。③大野口跡地の利用は未定である。市全体の公共施設配置計画の中で十分考えていきたい。



京福線廃線敷の道路拡幅整備が待たれる

**県道大野一本郷線の進行状況は  
どうなっているのか？**

**問** 県道大野一本郷線を一日も早く開通促進願いたいと思っているが、現在までの進行状況を伺いたい。

**答** 本年度で大矢戸までは基盤整備区域を除いて全線舗装される予定である。それから先の勝山の本郷までの峠越えをどうしていくかが大きな問題で、今後大々的に運動を進め開通に努力していきたい。なお庄林の部落内の拡幅整備については、県に対して要望している段階である。

**市道に認定はしたが……**

**改良、舗装は市民の切実な願い**

**問** 市道の認定は、昭和48年3月31日に定められた市の認定基準に従って実施されているが、市民はただ単に市道に認定して欲しいという要望だけではなく、今後の改良、舗装を市の責任において管理して欲しいというのが切実な希望である。市は今後の管理財源の見通しを十分考え市民の希望にこたえられるか。

**答** 全線にわたり完全な管理をすることは財源の関係から困難であり、市民の要望に十分こたえられないのが実態である。市としては今後市道の認定基準を忠実に守り市道の認定を行うと同時に、必要でない路線は廃止していく方向で整理すべき段階にきていると考え一つの試案をもっている。委員会の方で十分検討願いたいと考えている。その上で市道の維持管理に大いに努力し、市民の交通に支障のないようにしていきたい。

**市役所の事務室を開放する  
考えはないか**

**問** 市役所の事務室は、廊下の両側が壁で仕切られていて入りにくいという市民の批判もあるが、取り壊して開放する考えはないか。

**答** 以前から議論されている問題である。私自身も市民サービスの観点から取り外したいと思っているが、何分にも多額の経費がかかり、また冬期間の暖房の問題もあって、相当大幅な改良を加えなければならぬため、実行に移し切れないのが実状である。

**上庄地区の排水の一部を  
荒子用水に流す考えはないか**

**問** 上庄地区の排水処理については、すでに赤根川へ流すように計画されているが、赤根川へ早く水を排除するだけではなく、その一部を市街地の地下水源として、また防火用水として利用するため、木本から篠座へ流れている現在の用排水を市で管理し、全面改修して流すよう計画すべきと思うが……。

**答** 今日まで上庄の用水、市内の生活用

水、防火用水、下庄のかんがい用水は密接な関係の中で誠に合理的に利用されてきた。それだけに上庄の用水を、一挙に改修して市が全部管理することは非常に難しいと考えている。また赤根川へ全部排水するだけでなく、必要な水は市街地へ流れるように考えていかなければならないと思っている。ただ排水の問題については、特に悪水を除いていくことが主眼であり、今後十分検討していきたい。

**都市計画街路上中野線**

**来年度着工見通しは……?**

**問** 本町通りを突き抜け北大野駅に至る都市計画街路上中野線については、本年度国の事業認可を受け用地買収に鋭意努力中ということだが、来年度はどこの計画をもっているか伺いたい。

**答** 上中野地区のご理解のもとに、用地買収に努力している最中である。その交渉の中で物件移転先の代替地の確保に困難をきたし、国鉄の所有地を市に譲渡願うよう交渉中である。これらの問題を早急に解決して、国・県に対して事業実施の要望をしていきたい。



上中野線の早期着工  
(本町通りから見た写真)

**土地基盤整備事業により  
阪谷地区で飲料水に支障ノ**

**問** 現在阪谷地区で土地基盤整備事業が実施されているが、この工事に伴って川の流が止まり、地区の一部で井戸が枯れ、飲料水に支障をきたしているというが……。

**答** 今初めてお聞きした。水は日常生活に欠くべからざるものであり、早急にどのような措置を講ずべきか具体的な調査をいたしたい。

**し尿処理場の排水検査結果**

**県の環境基準をオーバー**

**問** 先般新聞紙上で当市のし尿処理場から出る排水が、県の環境基準に合っていないという検査結果が公表されていたが、市はこの問題についてどう考えているか。

またその後の処置について伺いたい。

**答** 増設後たびたび検査を実施してきたが、今回の県の調査によって、大変好ましくない結果が出たことは誠に申し訳なく思っている。このような施設は非常に流動的なもので、目で確認することは非常に困難である。早速建設当時のメーカーの責任者に施設全般について再調査をさせ、一貫した維持管理を十分協議して、今後このようなことないよう万全を期していきたい。

**問** 市独自で十分調査できる体制を講じていくべきと思うが……。

**答** 今後市で検査できるような部屋を造り、また器具・施設等も目下準備中であるので、検査に万全を期していきたい。

**道路の舗装負担金を**

**全廃する考えはないか**

**問** 道路の舗装負担金について市長は先の議会において、「50年度から全廃する方向で、また徐々に軽減する方向で努力したい」と答弁されたが、昨年以来現状維持のままである。今後市はいかに履行していく考えか伺いたい。

**答** 全廃すべきだという強いご指摘もあるが、今までの経過からみて一挙に全廃することは非常に困難である。時期をみて軽減の方向で努力していきたい。

**固定資産評価審査委員会委員  
道関氏再任に同意**

固定資産評価審査委員会委員である道関氏が、10月5日をもって任期満了となるので、再任したいと求められ、9月21日の本会議において、満場一致で再任に同意した。

大野市泉町14番37号

道 関 文

**南校と東校を併立して建設を進める考えは、南校の位置は？**

— 福祉センター、体育館、図書館  
建設時期と位置はどうか —

**問** 市長は重点施策の中で「教育文化の振興と福祉の充実を図りたい」と言われているが、次の3点について伺いたい。

- ① 南校と東校を同時に、建設を進めるのか、また建設時期と南校の位置はどうか。
- ② 体育館、福祉センターの建設位置と時期はどうか。
- ③ 独立した図書館を建設する考えはないか。

**答** 公共用地の配置計画については、議会の皆さんと協議を重ねているところであるが、私の考え方を申し上げて十分審議願いたい。① 南校の位置はかねてから南の方へ移動すべきということで、十分調査し交渉に当たってきたが、大体 6,000 坪の場所を確保するメドができたので、今会期中に十分協議をいたしたい。② 福祉センター・体育館の順でなるべく早い機会に建設していきたい。位置は開成中学校の跡地を予定している。なお①・②の建設時期は実施計画にからむので、何年度に実施するか早急に結論は出せない。③ 図書館は今後の福祉センターを建てる機会に、大野公民館と福祉センターを併設していき、現在の大野公民館を独立した図書館としていくのも一つの考え方であると思っている。

**問** 福祉センターの内容を具体的に伺いたい。

**答** 明確に決まっていない。市民の方々が一番何を要望しているかを中心にして建設すべきと考えている。

**問** 福祉センターが完成した場合、現在市役所内にある各団体の事務局を統合という形で一カ所に集めて行政指導していくべきと思うが……。

**答** ご指摘のとおりだと思っている。今後十分議会とも相談して決めていきたい。

**下庄公民館を大野口駅構内跡地に  
移転して改築する考えはないか**

**問** 現在の下庄公民館は昭和6年に建てられた旧下庄村役場を使用しているため、社会教育活動が十分できない現状である。また老朽化もはなはだしく、場所として

も不相当と考えられる。大野口駅構内跡地へ移転改築して欲しいという要望もあるが、どうか。

**答** 役場の建物と公民館とは最初の出発において目的が違っており、社会教育にふさわしくないことは仰せのとおりである。従って漸次社会教育の充実と社会教育に対する正しいイメージをうえつけるためにも改築すべきと思っている。しかしそこまで手が届かないのが現状である。さしあたり使用に危険な場所があれば、十分調査して補強していきたい。大野口駅跡地への移転改築については極めて適当な場所だと思っているが、まだ教育委員会の方で討議して計画の中に入れていないのが現状である。

**保育料の改訂を行うのか  
厚生省からの値上げ通達  
本年度は現行で……**

**問** 厚生省から保育料値上げについて通達がなされたと聞いているが、この物価高の折り、市民生活に与える影響は大きく、値上げを当分すえ置くべきと思うが、どうか。

**答** 4月1日に新しく料金を改訂したので、本年度はさらに値上げする考えはない。市の負担も今回の改訂によって大体 1,100 万円程度の持ち出しになると予測しているが、現行のままの保育料金でいきたい。

**市の農業に対する基本方針  
農業本来の姿にもどせ**

**問** 最近の国際情勢の中で特に食糧不足が大きな問題となっている。市長は「第一次産業から第二次・第三次産業へ移向して産業構造の革新を図りたい」と述べられているが、果たして現在の行政の方向として妥当かどうか。やはり第一次産業があってこそ、第二次・第三次産業が成り立っていくものと考えられる。“農民は農民にかえる”ということが本来の農業の姿であると思うが、市の農業に対する基本的な考え方を伺いたい。

**答** 第一次産業を軽視しているわけではない。産業構造が第一次産業から第二次・第三次産業へと移向せざるを得ないというのが今日の時代のうすせいになって

きている。ご指摘のように第一次産業はすべての基本をなすものであり、今後いかにして農業の生産性を高めていくか大きな問題である。市としても基盤整備事業の上に立った農業構造改善事業を強力に推進して、中核農家を育成していく方向で農業の発展に努力していきたい。

**公共施設の維持補修体制  
特に学校施設には万全を期せ!**

**問** 公共建造物が次々に完成し、市民に対して社会教育の場が拡充されることは誠に喜ばしい。しかし施設が今後十分活用されていくためには、維持補修体制が十分でなければならない。特に学校施設は万全を期すべきと考えるが。

**答** 膨大な市費を投じて建てられた公共施設を大事に維持することは極めて大切なことである。ご指摘をいただければ十分調査し維持管理に万全を期していきたい。なお学校施設についても十分学校長と連絡を緊密にして、危険のないよう指導していきたい。

**子供会育成会活動に  
強力な指導と援助を望む**

**問** 子供会育成会の活動を進めるには、地域住民の負担だけでは活発に活動していくことは相当困難である。市の強力な指導と援助が望まれるが……。

**答** 子供会 育成会というものは、社会教育的な団体として自主的に成長していくべきものであると考えている。それを市がどう側面から援助、支援していくか大変難しい問題である。今後十分研究していきたい。

**人権擁護委員に  
滝本、田中両氏を再推薦に同意  
第147回 8月臨時市議会から**

人権擁護委員である滝本、田中両氏が、任期満了となるため、再推薦したいと求められ、8月12日の本会議において、満場一致で再推薦に同意した。

大野市城町7番26号  
滝本 栄  
大野市中荒井町1丁目  
田中 さと系

# 委員会の活動

## ●教育民生委員会

### 責任体制の確立・児童保護

#### 一園長制の採用を強く要望一

付託された議案 7 件, 請願 4 件, 陳情 3 件については, 陳情 1 件を継続審査とした外は可決・採択しました。

審議の過程で問題となった点は, 市立保育所における園長制の採用問題である。昨年おきた園児の事故問題を審議する中で, 保育所における責任体制の確立と児童保護の立場から, 早急に園長制を採用されるよう検討方要望した。

## ●総務委員会

### 一ごみ焼却場建設反対陳情一

#### 継続審査に……

付託された議案 3 件, 請願 4 件, 陳情 3 件については, 請願 1 件, 陳情 2 件を継続審査した外は可決・採択しました。

陳情20号, 21号ごみ焼却場の建設反対については, 現在広域行政の事業として青島地区に建設しようとしているもので

あり, 理事者から建設の経過をつぶさに聴取し, あらゆる角度から検討した結果継続審査とした。

## ●建設委員会

### 一林道黒谷河内線市道

#### 認定の請願は採択一

付託された議案 1 件, 請願 3 件, 陳情 1 件と継続審査の請願 1 件については, それぞれ可決・採択しました。

請願20号林道黒谷河内線の市道昇格については, 森林資源の開発目的をもって林道として開設されたものであり, 完成後間もないことから, いま直ちに市道に昇格することは林道開設の主旨に反するのではないか, また市道に編入した場合の登記の問題, 維持管理の問題, あるいは利用度の問題等もあり, 時期尚早ではないかなどいろいろ論議されたが, 美山町に通ずる産業道路, 観光道路として, また将来県道昇格するためにも市道編入が前提条件となるので採択とした。

## ●産業経済委員会

### 一深刻な繊維産業の不況

#### キメ細かい指導と援助を

付託された議案 1 件, 陳情 1 件と継続審査の陳情 1 件については, それぞれ可

決・採択しました。

審議の過程で問題となった点は, ① 繊維産業の不況は今までにない誠に残念なものであり, 新規採用の中止, 転廃業, 操業短縮による人員整理等深刻な不況にみまわれている。これらの状況をつぶさに調査され, 時期を失することなく融資ワケの拡大はもとより, それに対する利子補給等市のキメ細かい指導と援助を強く要望した。② 家畜ふん尿の農地還元策に対する補助が計上されているが, 今日の土質の低下, 畜産公害問題, さらに農業の生産性向上の意味から, その成果が期待される。この機会にぜひとも土壤試験場の復活を検討されるよう要望した。

## 意見書 2 件を議決

### 政府関係機関へ提出

定例会最終日の 9 月 21 日に意見書 2 件が上程され, 審議の結果全員一致をもって可決されました。意見書は政府はじめ関係機関に提出し早期実現を要請しました。意見書は次の 2 件です。(本文略)

- 減税に関する意見書
- 物価高騰による庶民貯金の目振り対策に関する意見書

# 請願・陳情

6 月定例会で継続審査となった請願 1 件, 陳情 1 件, 9 月定例市議会で新しく提出された請願・陳情18件は, 各委員会で審査され, 委員長から本会議に報告して, 次のように決定しました。

## 採用したもの

- 陽明中学校整備拡充について  
陽明中学校 P T A 会長 松田桂介
- 林道黒谷河内線の市道昇格について  
上黒谷市道昇格促進委員長  
畑中五百治外40名
- 下庄公民館移転改築早期建設について  
下庄公民館改築促進期成同盟会  
会長 四方軍平外14団体長
- 市道舗装について  
東山区長 松田市治外13名

- 市道への編入について  
佐開区長 前田干波外 5 区長
- 減税に関する決議採択について  
大野地区労働組合協議会会長 森田 寛
- 森目小学校の水泳プール建設について  
森目小学校教育会  
会長 松田庄二外 5 名
- 水泳プール建設について  
南六呂師区長 山腰と視外 2 代表者
- 物価の高騰による庶民貯金の目振り対策に関する決議について  
三井英治外15名
- 市道への編入について  
新塚原区長 松本真治外12名
- 農業近代化施設設置計画に対する協力方依頼について  
大野市農業協同組合長理事 本多良三
- 市道の認定について  
田野区総代 高田祐吉
- 木本分校プールの建設について  
中村町区長 福田耕男外 4 区長
- 福祉施設建設用地の無償貸与について

- 京福線廃線に伴う物資輸送対策  
大野地区労働組合協議会会長 小西正英

## 継続審査となったもの

- 生活保護基準の大幅改善に関する意見書提出方依頼について 長嶋正市外 7 名
- 日雇健康保険の改善に関する意見書の提出方依頼について 長嶋正市外 7 名
- 青島地区ごみ焼却場建設反対について  
新河原区長 松田幸男外21名
- ごみ焼却場の建設について  
森目区長 松田庄二外45名
- 戦没者遺家族への助成等について  
大野市遺族会会長 宮沢 正外15名

8 月の補欠選挙による, 当選議員の委員会所属は次のとおりです。(敬称略)

- 総務常任委員会 米村 武
- 産業経済常任委員会 石田政治
- 教育民生常任委員会 栄 正夫